

研究シーズ



池上 国広

Ikegami Kunihiro

教授

【所属】

工学部工学科船舶工学コース
大学院工学研究科
新技術創成研究所

キーワード

浮体構造物
浮体連結装置
係留
海洋エネルギー

保有機器・装置

試験水槽
運動計測装置

技術相談／共同研究が可能な研究、概要

1) 多連結浮体システムに関する研究

大型の浮体構造物を、これまでのような単一浮体ではなく、小規模な浮体を多数連結した形式の多連結浮体システムとすることで、比較的小規模な施設での建造が可能となる。キー技術である浮体連結装置は開発済みであり、それを適用することで多種多様な浮体構造物を実現できる。

2) 海洋エネルギー利用技術に関する研究

クリーンで再生可能な海洋エネルギーの利用に関心を集めている。特に洋上風力発電と潮流発電が有望であり、それらの装置を搭載する波浪中性能に優れた浮体構造物の開発に取り組んでいる。

3) 沿岸浮体構造物の係留法に関する研究

沿岸域に設置される浮体構造物を対象として、チェーン係留に代わる安価で安全性能に優れた係留法の検討を行っている。



多連結浮体システムの水槽試験の様子

応用分野、想定される用途

- ◇ 各種浮体構造物
- ◇ 海洋エネルギー発電装置
- ◇ 連結・係留浮体構造物

地域貢献可能なテーマ

- ◇ 各種浮体構造物（浮棧橋、浮消波堤等）の開発